

「石けん使おう！7月はシャボン玉月間」によせて

入間市長 田中 龍夫

近年、地球規模の問題である海洋プラスチックごみは、街中で発生したごみが河川から海へ流れ込むのを防ぐことが課題となっています。

入間市には、霞川、不老川、入間川などの河川が流れています。多くの市民の方の協力により、6月には市民清掃デー、9月には霞川をきれいにする会、不老川をきれいにする会を中心に清掃活動が行われているため、プラスチックなどのごみから豊かな水環境が守られています。この豊かな水環境を次世代へ残していくため、市民、市民団体、企業、市が連携した保全活動は重要な取り組みです。

また、豊かな水環境が守られていることは、貴会の活動が大きく寄与したものと認識しております。長年にわたり、水環境保全に取り組まれてきた貴会の活動に敬意を表しますとともに、今後も活動の輪が一層広がりますことをご祈念申し上げます。

「シャボン玉月間」によせて

越生町長 新井雄啓

越生町は、越辺川の清流と四季折々の花と山々に囲まれた緑豊かな自然に恵まれたまちです。

本町では、豊かな自然と緩やかな起伏の地形を活かし、また健康志向の要望を受け、平成28年4月29日に全国初の「ハイキングのまち」を宣言しました。その宣言を受け、毎月第2土曜日に月例ハイキングを実施し、豊かな自然の中でウォーキングを楽しんでおります。

今後も豊かな自然環境を保全し、潤いと優しさのあるまちづくりに取り組んでいきたいと思っております。

本町の施策は、自然環境保全に積極的に取り組む貴会の「せっけん運動」に通じるのではないかと思います。

末筆ながら、貴会の活動の益々の発展を祈念しております。

「シャボン玉月間に寄せて」

坂戸市長 石川 清

坂戸市は、武蔵野の緑と清流高麗川が織りなす恵み豊かな自然の恩恵を受け、今日まで発展してまいりました。

本市におきましては、この豊かな自然を未来に引き継ぐため、「みんなでつくる水と緑の住みよい環境のまちさかど」を目指すべき環境像に据えて、市民の皆様とともに、環境への負荷を軽減する取り組みを積極的に進めています。たとえば市内の環境学館いずみでは、学

校給食の廃食油を利用したリサイクル石けん作りを実施しており、環境にやさしい石けんの普及を図っています。

貴会の長年にわたる『せっけん運動』への取組みに心から敬意を表しますとともに、今後ますます運動の輪が広がりますことを祈念申し上げます。

シャボン玉月間によせて

狭山市長 小谷野 剛

狭山市は、多くの企業が立地し、埼玉県内屈指の工業都市である一方、入間川、不老川をはじめとする河川、山林、田園地帯も有している、水と緑に恵まれた自然環境豊かなまちです。

過去には、不老川が「日本一汚い川」といわれた時期もありましたが、住民と行政が一丸となり清掃活動や生活排水対策などに取り組んだ結果、水質が改善し、今では「市民の憩いの場」へと変わっています。

今後も、次の世代が自然の恵みを享受できるよう、市民・事業者・行政の協働のもと、継続して環境保全活動に取り組んでまいります。

貴会の長年にわたる水環境保全の活動に心から敬意を表しますとともに、せっけん運動の輪がますます広がりますことをご期待申し上げます。

「石けん使おう！7月はシャボン玉月間」によせて

鶴ヶ島市長 齊藤 芳久

鶴ヶ島市は、関越自動車道と首都圏中央連絡自動車道が交わる交通の要所です。その一方で自然環境と居住環境が程よく融合した住みやすく快適なまちでもあります。

市の目指すべき環境像としては、第2期鶴ヶ島市環境基本計画において、「里山と小川 風と緑と生きものと 共に生きるまち」を掲げています。その中で、水辺の保全と再生は重点施策のひとつとなっています。

「石けん運動」は、生活排水による河川の汚れを軽減するとともに、身近な活動を行うことで、みんなで未来の鶴ヶ島に自然との調和を残すことに繋がります。

そのことが、市の将来像である「しあわせ共感 安心のまち つるがしま」に寄与するものと考えております。

貴会の長年にわたる水環境保全への取組みに敬意を表しますとともに、今後も、実り多いものとなりますよう、心からご期待申し上げます。

シャボン玉月間によせて

飯能市長 大久保 勝

飯能市は、埼玉県南西部に位置し、森林や清流など豊かな自然環境と共存する中で歴史や文化、人々の暮らしを育んできました。

本市の森林に源流を発する入間川、高麗川は、美しい自然景観を創り出すとともに、埼玉県民や東京都民の水がめの一部として、人々の生活や生産活動など社会経済基盤として不可欠な貴重な水源となっており、下流域住民の安心・安全な日々の暮らしを支えています。

上流域に位置する自治体として、後世に豊かな自然と清流を引き継いでいくために、今後一人ひとりが環境保全に対する意識を高め、市民、事業者及び市が一体となり保全活動を進めてまいります。

結びに、貴会の長年にわたる活動に敬意を表しますとともに、活動の輪がますます広がりますことを心よりお祈り申し上げます。

シャボン玉月間によせて

日高市長 谷ヶ崎 照雄

日高市は、首都近郊に位置しながら手軽に山登りが楽しめる「日和田山」、カワセミが飛ぶ清流「高麗川」、500万本の曼珠沙華が咲き誇る「巾着田」など、豊かな自然に恵まれたまちです。

この自然環境を維持し、次世代に引き継いでいくためには一人ひとりの環境に対する関心や意識が大切です。

市では、小学生を対象に、豊かな自然の中での活動を通じて、環境について学習する「川ガキ・山ガキ自然塾」を開催しています。また、河川などの公共用水域の水質を保全するため、単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換を推進しています。

結びに、長きにわたる貴会の活動に対し敬意を表しますとともに、活動の輪がさらに広がりますよう心からご祈念申し上げます。

「石けんを使おう！7月はシャボン玉月間」へのメッセージ

毛呂山町長 井上 健次

埼玉県南西部に位置する毛呂山町は、山地と平野を有する多様な地形で、穏やかな気候と

豊かな自然に恵まれています。平地には越辺川と高麗川が清らかに流れ、里山の田園風景が広がっています。水質の保全や、水害に強い河川水路整備に努めながら、ウォーキングコースなど安らぎのある水辺の活用を行っております。

今年はレジ袋の有料化がスタートするなど、環境保全について、生活に身近なところから変えていくことの重要性の認識が広がりを見せております。貴会が取り組む石けん運動は長い歴史をもち、河川や海の保全に対する人々の意識改革に寄与されてきました。あらためて敬意を表しますとともに、持続可能な社会の実現に向け、今後もますます活動の輪が広がりますことをご期待申し上げます。